

## 第99回城山地区まちづくり会議全体会結果

日 時：令和4年11月10日（木）

午後7時～午後8時30分

会 場：城山総合事務所第1別館2階B会議室

出席者：21名（欠席4名）

傍聴者：1名

1 開 会 佐藤所長

2 代表あいさつ 齋藤代表

3 議 題

(1) 城山地区小・中学校の学習環境のあり方検討協議会設置について（学務課）

学務課から小・中学校の学習環境のあり方についてのこれまでの経過や協議会設置の目的等の説明が行われ、協議会設置のための委員の推薦についての依頼がされた。

《 質問・意見等 》 ○…委員、●…学務課、□…代表

○津久井地区や藤野地区で、小中学校の統廃合があったが、その際も協議会が設置され検討がされてきたのか。

●藤野地区では、旧相模原市との合併前に小中学校の統廃合が行われたが今回の検討方法とは異なる。また、津久井地区では、青根と青野原の小中学校4校を義務教育学校として青和学園が設置され、来年4月に鳥屋の小中学校2校で義務教育学校として鳥屋学園を設置する予定となっている。相模湖地区においても保護者やまちづくり会議において、同様の検討が進められている。

○学務課からの委員の推薦（案）が示されたが、産業・経済関係を除く各分野からではなく、積極的に参加を希望する人を推薦してはどうか。その方が活発な検討が行えるのではないか。

□産業・経済関係の分野が除かれているが、まずは、学務課から示された推薦（案）をもとに各分野で推薦委員を検討していきたい。

(2) 令和4年度城山地区まちづくりを考える懇談会について

ア 城山地区まちづくりを考える懇談会のテーマと内容

これまでの意見を踏まえ修正された資料2のテーマと内容について、事務局から説明がされ、特に意見もなく承認がされたことから、11/14の提出期

限までに市民協働推進課に提出をすることとなった。

#### イ 城山地区まちづくりを考える懇談会の流れと役割分担（案）

事務局から資料3～6に基づき、懇談会の流れ、出席者、座席表等の説明が行われ、これまでの城山地区の懇談会の経過を踏まえ、まちづくり会議の委員だけではなく、自治会長も出席してもらうこととなった。また、当日の役割分担について、役員会における（案）のとおり承認がされた。

#### （3）市に対する質問事項等に関する調査結果について

前回の全体会后に委員に対して行った市に対する質問事項の調査結果について、事務局から集約結果についての説明が行われ、内容の確認を行った。

《 意見等 》 ○…委員、●…事務局

○道路の関係が「国道413号等の整備について」で一括されているが、国道以外の部分の質問は、別にしたほうがよいのではないか。

○広陵小学校への通学路の清掃の部分は、まず、まちづくり会議等で話し合えばよく、市に質問をしなくてもよいのではないか。

●国道413号以外の道路に関する件については、「城山地区内の道路の整備計画について」などの表現に変更して市に対して質問をしていく。

#### （4）城山地区で具現化していく取組について（部会検討）

全体会では、事務局から資料8・9に基づき、各部会での検討事項の説明がされ、全体会終了後に各部会に分かれ検討を行い、各部会検討終了後解散となった。

#### （5）その他

議題（1）の城山地区小・中学校の学習環境のあり方検討協議会設置について、質疑があり、その後、分野ごとに委員推薦の検討を行った。

《 質問・意見等 》 ○…委員、□…代表、■…事務局

○まちづくり会議の委員を辞めた後でも協議会の委員は継続するのか。

□学務課の資料の別紙2において、「現職委員が委員を継続することが困難となった場合は、後任を推薦」となっている。

■学務課の資料の別紙2に記載のあるとおり、原則は継続してもらうこととなるが、やむを得ず継続できない場合は後任の委員を推薦することとなる。

○委員が途中で変更となると、検討の進捗状況にも影響があるため、まち

づくり会議の委員の任期に関わらず継続してもらった方がよいのではないか。

○保護者代表のPTA会長からの推薦委員も継続して参加するのか。

■原則は継続して協議会に参加してもらうこととなる。

○学務課が示した委員推薦（案）では、有識者枠はないということによいか。

○分野ごとの委員の割り振りについて、確認したほうがよいのではないか。

○議題（1）での学務課の提案に対して、質問や意見もなかったことから、学務課の提案どおりの説明内容で進めざるを得ないのではないか。

学務課から示された推薦（案）をもとに各分野で推薦委員を検討した結果、次のとおりとなった。

	分野	推薦委員
1	地域関係	齋藤 信夫
2	地域関係	小島 盛生
3	地域関係	林 和博
4	地域関係	西川 正行
5	地域関係	八木 佐利
6	保健福祉関係	宗田 眞理子
7	防犯・交通関係	未 定
8	教育関係	未 定

#### 4 閉 会 曾根副代表

以 上

#### 【全体会終了後の各部会での検討内容】

##### ●高齢者とともに築き支える地域づくり部会

##### しろやま☆おせっかいの取組について

前回部会で意見のあった美化運動、声かけ、子どもたちを交えた取組についての具体的な活動についての検討が行われた。

##### 《 主な意見 》

- ・相模川クリーン作戦等のような美化活動をやってくれた人にバッチを配布したらどうか。

- ・地域との繋がりを作るため、美化運動を行う方向で検討をしていこう。
- ・美化運動以外に見まわりや声掛けで何か行えることはないか。
- ・声かけについて、具体的に何か方法はあるか。
- ・近所を歩いて、情報を収集する。
- ・地域を年数回歩き見まわりをする。
- ・役割を与えると続かないから、まずは我々だけで地域を歩き、何かやっているなどいうことを知らせていく。その活動を市等の広報にPRをしていく。
- ・行っていくうちに自発的な参加者を増やしていく。参加者にバッチを配布する。
- ・バッチのデザインを考えていこう。
- ・周りの人が見てわかるように、参加者には何か統一の物（シャツ・帽子など）があったほうが良い。
- ・危険箇所や気になる場所の情報を集め、優先順位を決めて回る順番を考える。

### ●子どもたちの主体性を育む地域づくり部会

前回の部会で、一度打合せをすることとなっていた城山子ども会（城山地区子ども会育成連絡協議会）との打合せ結果について、小島部会長から説明がされた。その後、協力をしていただける場合の取組に対してのイメージについて検討を行った。

#### 《 主な意見 》

- ・城山地区子ども会育成連絡協議会は現在原宿のみ加入しているが、城山地区全体で何かを行う場合、原宿以外の地区の育成会・子ども会も参加してもらえるのか。
- ・各単位では、子ども会や育成会が残っているが、城山地区子ども会育成連絡協議会に加入に加入しておらず、横のつながりがない状態。この取組を行っていただくことにより、そういった横の繋がりもできてくることを願っている。
- ・まちづくり会議としては、子どもたちの意見を聴き、子どもたちがやりたいことを行う取組をやってもらえるようお願いをしたい。
- ・その団体に受けていただけるということであれば、一度会議にも出席してもらい取組について検討をしていきたい。
- ・今の子どもたちは社会問題など色々なことに関心が高い。ただ、それをどうしたらよいか手段がわからない状況。その部分を解決するツールを大人が持っている必要がある。もしくは選択肢を与えられるよ

うにしたい。

- ・子どもたちのやりたいことをサポートできたらよい。
- ・遊びというより、子どもたちがやりたい活動へのサポートという方がよいのではないか。
- ・子どもたちがやりたいと思う事に対して、向かっていける子どもを育てていく取組を行っていきたい。
- ・防災、観光等子どもたちが選べるような大きなテーマを考えていく必要がある。
- ・学校の中で子どもたちにどんなことをやりたいか等アンケートを取ることができるか。
- ・アンケートを取ることにはできるが、子どもたちは、交通、環境、福祉等色々なことに興味を持っているため、遊びということに限定をしない方がよいのではないか。
- ・子どもたちにアンケートを取る場合、自由記載で可能なのか。何かキーワードがあったほうが良いのか。
- ・何かしらのキーワードは必要。
- ・アンケートに防災、伝統文化等のキーワードを入れたらどうか。項目を整理したらどうか。
- ・対象年齢をどうするか考える必要がある。
- ・最初の企画段階ということで、城山地区子ども会育成連絡協議会が依頼を受けられるなら、一度会議に来ていただき、お話を聞きたい。

以 上